

## パブリックコメントで提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画(案)  
 意見募集期間 : 平成27年2月20日(金)～平成27年3月5日(木)  
 意見等の提出件数 : 5件(4人)

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
全般	<p>H23年の西脇市での浸水被害の際、被害を受けた人が市役所にそれぞれの被害について強調していたことから、推進計画の中で、人命、財産など守るべきものの優先順位をつけてもう少しわかりやすく記述すべきと思う。</p> <p>◆本編参考箇所「2 総合治水の基本的な目標」</p>	1	<p>【記載済】</p> <p>「2 総合治水の基本的な目標」の『そなえる』減災対策に記載のとおり、人的被害の回避・軽減を最優先とし、県民生活や社会経済活動への深刻なダメージを回避・軽減することを目標として取り組みを進めるとしています。</p>
流域対策 【ためる】	<p>水田貯留は個人でも取り組める簡単な方法でないと、取り組みは広がらないと思う。</p> <p>◆本編参考箇所「5-2-(2)水田」</p>	1	<p>【記載済】</p> <p>「5-2-(2)水田」に記載のとおり、県および市町からセキ板を無料配布するとともに、管理方法の講習を実施するなど、個人でも取り組めるように今後も努めていきます。</p>
減災対策 【そなえる】	<p>命を守るためには、減災対策が一番重要と考える。災害弱者を守るための具体的な対策を地域ごとに作り、浸透させ、災害の際には自助・共助によって命を守ることが必要である。モデル地区の中でも記載しているが、減災対策の中でももう少し踏み込んで記載して欲しい。</p> <p>◆本編参考箇所「2 総合治水の基本的な目標」「3 総合治水の推進に関する基本的な方針」「6 減災対策」</p>	1	<p>【記載済】</p> <p>「6 減災対策」に各市町の減災対策をまとめ、自助・共助をサポートする情報なども記載しています。今後のフォローアップにて、記載の充実に努めます。</p>
モデル地区	<p>モデル地区でため池貯留や水田貯留を重点的に実施し、その効果を他の地区に積極的に発信することで、流域全体の機運を高めるよう努めて欲しい。</p> <p>◆本編参考箇所「9 モデル地区等における取り組み」</p>	1	<p>【記載済】</p> <p>「9 モデル地区等における取り組み」に記載の通り、モデル地区における取組状況や地先での効果等について推進協議会等の場を通じて情報発信を行い、総合治水の取組を流域全体に広げていきます。</p>
	<p>モデル地区の取り組みや効果を流域全体で共有し、上・中・下流域の住民がお互いの流域を気遣い合う意識が根付くよう努めて欲しい。</p> <p>◆本編参考箇所「8 総合治水を推進するにあたって必要な事項」「9 モデル地区等における取り組み」</p>	1	<p>【記載済】</p> <p>「9 モデル地区等における取り組み」に記載の通り、推進協議会等を通じて情報発信を行うことで、総合治水の取り組みを流域全体に広げていくこととしており、これらを共有することで、上・中・下流域の住民がお互いの流域を気遣い合う意識が根付くよう努めていきます。</p>